



拝三小の教育

昭島市立拝島第三小学校
校長 松井 茂

学校HP. www.city.akishima.ed.jp/~hajjima3

TEL.042-541-1274 FAX042-541-7907

「ありがとう」から始まる社会性

イギリスの「わらべうた」に右のような歌があります。子供が言葉を覚え始め、人と関わりをもつようになった頃、お母さんが最初に教える言葉は、この「ありがとう」ではないでしょうか。

- ・おもちゃを貸してくれて「ありがとう」
- ・お菓子を分けてくれて「ありがとう」など

家から一歩外に踏み出せば、人と関わる世界が広がっています。子供が外に出て、家族以外の人々と関わることは社会性を育てる上でとても大切です。相手が自分に向ける気持ちや行為を受け取り、それに対して感謝する。その心が「ありがとう」です。肌身離さずちっちゃな鍵を持ち歩かせたいものですね。

社会性の基本は、基本的な生活習慣の見直しも大切です。「ありがとう」も「おはようございます」も、あいさつは人々が互いの気持ちを思いやる心からできた言葉です。人と人との心のつながりを実感し、今日の生活の活力を生み出します。そして、社会性を深めていく大切な行動でもあります。人と人との関わりの中で育つ「あいさつ」を拝三小では「オアシス」のあいさつとして大切にしています。

オアシスのあいさつ

- オ:おはようございます(気持ちの良いあいさつ)
ア:ありがとうございます(感謝の心)
シ:しつれいします(譲り合いの心)
ス:すみません(謝る心と感謝の心)

子供たちも先生方もとてもあいさつがよくできているということです。毎朝門に立って子供たちを見ていますが、「おはようございます」の声がよく聞こえます。廊下ですれ違っても「こんにちは」や教室に行ってもあいさつや会釈をしてくれる子が多いです。先生方も職員室であいさつを交わしたり、「ありがとう」などの声もよく聞かれます。大人がしっかりと範を示しているからだと感じています。当たり前前の方が当たり前前にはできることは、簡単なようで難しいことですが、人として大切にしていきたいことです。

ご家庭でも「いってらっしゃい」などのあいさつで気持ちよく送り出していただけると幸いです。

いりぐち

心は いりぐちと おなじです
かんたんにすうっと あくのです
ちっちゃな ちっちゃな かぎでね
わすれちゃいけません その中に
ふたつのかぎがあるので
「ありがとう」と「さあ どうぞ」

(イギリスのわらべうた
木島 始 訳)

入学式では、3つの「あ」の話をしました。「あんぜん」「あいさつ」「あとかたづけ」です。集団生活をするうえで基本となるからです。やはり、あいさつは外せないことです。

この学校に来てまず思ったことは、



朝のあいさつ運動